

「先端化粧品科学シンポジウム –動物実験禁止の今、化粧品の安全性を考える–」 開催のご案内

東京工科大学では、応用生物学部に国内初の先端化粧品コースを設立し、「皮膚・毛髪と化粧品」に関する研究及び教育・人材開発の活動をおこなっております。この度、本コースの活動成果の化粧品業界への還元と最新化粧品技術に関する情報交換を目的に、先端化粧品科学シンポジウムを開催いたします。

今年のシンポジウムでは、動物実験が化粧品業界では禁止になった今、新規原料および新製品の安全性をどのように考えるかをテーマとし、前化粧品工業連合会安全性部会長 佐々 齊 様をお招きし、「将来に向けて今、化粧品の安全性保証を考える」と題して化粧品の今後の安全性評価の方向性について紹介していただき、さらに国立医薬品食品衛生研究所より足利 太可雄 様による動物実験代替法の現状についてのご講演、中出 正人 様（株式会社コーセー研究所 皮膚・薬剤研究室室長）による化粧品の重要な海外戦略のひとつである「アジアへの化粧品展開と品質保証」と題した講演をしていただきます。

また、最近の研究トピックスと題して本学教員による研究紹介、ならびに本学学生による研究成果のポスター発表を懇親会形式で企画しております。つきましては、化粧品関連の企業・団体の皆様に、是非とも本シンポジウムにご参加いただきたくご案内申し上げます。

○日 時：2018年8月23日（木）13:00～17:40（受付開始12:20）

○場 所：東京工科大学 蒲田キャンパス3号館10階、12階（東京都大田区西蒲田5-23-22）

○内 容：

◆第1部 講演会（10階 31001教室）

- 13:05～13:50 招聘講演 「将来に向けて今、化粧品の安全性保証を考える」
前化粧品工業連合会安全性部会長
現 SCS(Sasa Cosmetics Safety)コンサルティング代表
佐々 齊 様
- 13:50～14:35 招聘講演 「動物実験代替法開発の現状と化粧品の安全性保証」
国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター
安全性予測評価部 第二室 主任研究官
足利 太可雄 様
- 14:35～14:55 休憩
- 14:55～15:40 招待講演 「アジアへの化粧品展開と品質保証」
株式会社コーセー 研究所 皮膚・薬剤研究室室長
中出 正人 様
- 15:40～16:25 講演 最近の研究室トピックス
「化粧品成分としてのプラセンタエキスの示す生物活性の精密分析と
活性残存機構に関する考察」
東京工科大学 応用生物学部 教授 今村 亨
「植物の恵みを化粧品へ。ボタニカル化粧品原料の開発」
東京工科大学 応用生物学部 教授 柴田 雅史
「環境変化により誘導される皮膚の高酸化状態」
東京工科大学 応用生物学部 教授 正木 仁

◆第2部 ポスター発表および懇親会（12階 ラウンジ）

【参加申し込みについて】

- ・参加費：無料
- ・対象：企業での研究開発・技術部門・商品企画・採用のご担当者
- ・定員：100名
- ・申込方法：下記 URL の申し込みフォームからお申し込みください。
<https://www.teu.ac.jp/siryou/acs/>
- ・申込〆切：2018年7月24日（火）
（申込〆切日前に定員に達した場合は、その時点で受付を終了させていただきます）
※お申し込みいただいた方には後日、詳細をメールにてご連絡いたします。
- ・お問い合わせ先：東京工科大学応用生物学部・正木まで（e-mail:masaki@stf.teu.ac.jp）。
- ・アクセス：JR京浜東北線・東急池上線・東急多摩川線「蒲田」駅 蒲田駅西口より4分



以上